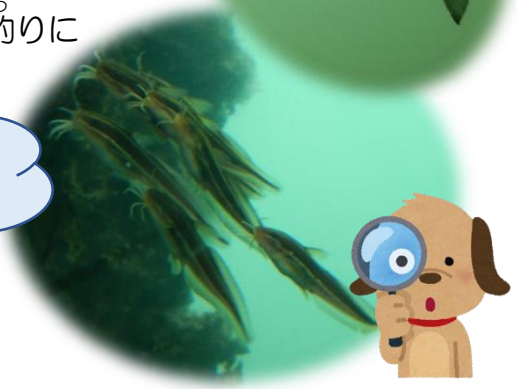
FISHING トピック　No.20

釣りの出前講座

爽やかな秋の風が心地よく感じられる今日この頃、ふっと外を見ると彼岸花がキレイに咲き誇っていました。秋のお彼岸（秋分の日を真ん中として前後３日間 計７日間の期間）の頃に花を咲かせることが名前の由来だとか！？そんな彼岸花には毒があります。花・葉・茎球根など、どの場所にも毒が！その中でも球根に最も多く毒があるそうです。害虫やモグラやネズミといった小動物に食べられるのを防ぎ、身を守っています。触っても問題ないと言われていますが…見るだけにしておきましょう！さて、先日のこと釣りの出前講座へ北九州市立水環境館に赴きました。１２名の参加者のみなさんと紫川河口（水上ステージ周辺）で魚釣りに挑戦！当日は生憎の天気(；∀；)どんよりとした曇り空そして強風にも負けず釣り開始！

針とオモリ（ガン玉）だけのシンプルな仕掛けで今回は魚を狙いました。仕掛けを早速投入！アタリを待っていると“コツコツ”　竿先に反応が…上げてみると２０cm程のマハゼが釣れていました。その後も次々とマハゼがヒット！そんな中、マハゼとは違う強い引きが…手のひらサイズのキチヌでした。半日の釣り体験でしたが釣果は大漁！みなさん存分に釣りを楽しんでいました。今回は７種類【マハゼ・ウロハゼ・キチヌ・スズキ・ヒラスズキ・ヒイラギ・タケノコメバル】の魚たちに出会うことができました。ハゼ釣りはこれからが最盛期！みなさんも紫川河口へ釣りに出かけてみてはいかがでしょうか？また、出前講座を行った北九州市立水環境館の河川観察窓からは様々な生き物を観察することができます。釣りで釣った魚たちはもちろんのこと、数えきれない程のゴンズイが集まった「ゴンズイ玉」も見られるかも！海の中の様子をじっくりと観察してから釣りに挑戦してみては？！

水環境館へ遊びに
行ってみよう！！



作成日：令和４年 10 月 14 日